

# 文化芸術の夕べ

～G7広島サミット開催1周年～

G7 Hiroshima Summit Memorial Concert

G7広島サミット開催から1年が経ちました。夏の夕暮れに、世界平和への願いに想いを馳せてみませんか。  
被爆ピアノとヴァイオリンの音色やひろしま神楽の迫力をぜひお楽しみください。



萩原麻未  
(ピアノ)

©Marco Borggreve

北田千尋  
(ヴァイオリン)

©Lorenzo Barassi

琴庄神楽団

2024. **7.27 SAT** 18:30 START 場所／元安川親水テラス (平和記念公園内)  
Peace Memorial Park

## PROGRAM

- ・神楽公演「八岐大蛇」  
Hiroshima Traditional Culture Kagura "Yamata no Orochi"
- ・音楽公演  
「被爆ピアノ・ヴァイオリン デュオ」  
Recital on a piano that survived the A-bomb and a violin



明子さんの被爆ピアノ



※天候により、開催を縮小・中止する場合があります。(雨天時は、音楽公演のみ広島市平和記念公園レストハウスで開催します。)

主催／G7広島サミット記念コンサート実行委員会 (広島県、広島交響楽協会、広島神楽芸術研究所、中国新聞社)  
問合せ／G7広島サミット記念コンサート実行委員会事務局 (広島県文化芸術課内) [kanbunka@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:kanbunka@pref.hiroshima.lg.jp)

最新情報  
はこちら→





# 音楽公演

世界で活躍する広島出身のピアニスト萩原麻未が被爆ピアノを、広島交響楽団コンサートマスターで広島出身のヴァイオリニスト北田千尋とデュオで、平和を願い演奏します。

エルガー「愛の挨拶」、クライスラー「美しきロスマリン」、マスネ「タイスの瞑想曲」ほか



©Marco Borggreve

## 萩原麻未 (ピアノ)

広島県出身。2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。年によって1位を出さないこの伝統あるコンクールでの8年ぶりの優勝となりました。第27回バルマドロー国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業。文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院を卒業。国内主要オーケストラのほか、スイス・ロマン管弦楽団、フランス国立ロワール管弦楽団、南西ドイツ放送交響楽団などとも共演を重ね、現在、日本、フランスを中心に、世界各地での演奏活動を行っています。広島市民賞のほか、第13回ホテルオーケラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)など多数受賞。



©Lorenzo Barassi

## 北田千尋 (ヴァイオリン)

広島市出身。桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了後、ブリュッセル王立音楽院に留学。第7回仙台国際音楽コンクール第4位受賞。第1回プラチスラヴァ舞台芸術アカデミー国際音楽コンクール第2位。第65回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位。いしかわミュージックアカデミーIMA奨励賞、ミュージックアカデミーinみやぎき優秀賞、霧島国際音楽祭賞など数々の賞を受賞。広島県教育委員会より「メイプル賞」、広島市長より「フェニックス賞」受賞。国内外のオーケストラと共演し、ソリストのほかコンサートマスター、室内楽奏者としても活躍。カルテット・アマービレのメンバーとしても活動し、第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門にて第3位及び特別賞受賞。2024年7月から広島交響楽団コンサートマスターに就任。



## 明子さんの被爆ピアノ

このピアノは1926年、米国のボールドウィン社で製造され、同じ年にロサンゼルスで生まれた河本明子さんが愛用していました。1933年、明子さんは両親と弟とともに広島に移り住みました。1945年8月6日、広島に原爆投下。学徒動員で奉仕活動中だった明子さんは爆心地から約1キロメートルで被爆し、翌7日夕方に19歳の生涯を閉じました。病名は「急性放射能障害」でした。明子さんの自宅にあったピアノも爆風により、多くのガラス片で傷つきました。2005年8月、調律師坂井原浩氏による困難な修復作業を終え、広島市で開催された被爆60周年平和祈念「被爆ピアノ・チャリティコンサート」で美しい音色がよみがえりました。以来、「明子さんのピアノ」は、あの日の出来事を現在へ伝える貴重な「被爆遺品」として、平和の調べを奏でています。※このピアノは一般社団法人HOPEプロジェクトが所有・管理しています。

# 神楽公演

国内外での公演実績者を有する琴庄神楽団が、G7広島サミットで披露されたひろしま神楽「八岐大蛇」を舞い、迫力ある伝統芸能のステージを披露します。

## 琴庄神楽団

広島県北部の北広島町豊平地域に籍を置き、琴谷天日神社と庄原八幡神社を守護神として崇拜し、活動する神楽団です。高宮町の神楽団より習い受けた従来の神楽を伝承するとともに、現在では、舞台芸能としての神楽にも取り組んでおり、2005年には後に世界遺産となった奥州平泉を、また2010年には広島県の世界遺産「宮島」を題材とする創作神楽「厳島」を作り発表しました。

## 演目「八岐大蛇」

高天原を追われた須佐乃男命はたまたま出雲の国簸の川で嘆き悲しんでいる足名椎、手名椎、櫛稲田姫に会い、その理由を聞くと大蛇の征伐に向かいます。やがて、たなびくむら雲に乗って現れた大蛇に巧みに樽酒を飲ませ、やがて酔い伏して眠った大蛇を大格闘の末、征伐します。このとき大蛇の尾から出てきた一振りの剣を「アマノムラクモノツルギ」と名づけて天照大神に捧げ、めでたく櫛稲田姫と結ばれるという物語です。



## G7広島サミット記念館の紹介

【開館時間】3月～7月/7:30～19:00、8月/7:30～20:00(8月5日、6日は21:00まで)

9月～11月/7:30～19:00、12月～2月/7:30～18:00

※開館時間に変更する場合があります。

来館前に広島市ホームページで開館状況をご確認ください。

【休館日】12月30日・31日

【入館料】無料

【運営】広島市

G7広島サミットを振り返っていただくため、首脳等が記帳した芳名録や首脳会議で実際に使用された円卓・椅子などを展示しています。また、首脳行事、パートナーズ・プログラム、国際メディアセンターで発信された広島の魅力、未来を担う若者の活動を紹介しています。

